

E. coli由来のアスパラギナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1932

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アスパラギナーゼ（EC 3.5.1.1、USAN）またはコラスポース（BAN）は、アスパラギンをアスパラギン酸に加水分解する反応を触媒する酵素です。アスパラギナーゼは微生物によって発現および生成される酵素です。

別名 EC 3.5.1.1; アスパラギナーゼ; コラスポース; L-アスパラギナーゼ; L-アスパラギン アミドヒドロラーゼ

製品情報

由来 大腸菌

形態 2.5 M リチウム硫酸塩中で。

EC番号 EC 3.5.1.1

CAS登録番号 9015-68-3

分子量 ~ 37,900

活性 ~ 15 U/mg

濃度 ~ 350 U/mL

等電点 ~ 6.3

最適pH 8

最適温度 37°C

単位定義 アスパラギナーゼ活性の1単位は、NADPHが存在するTris.HCLバッファー（45 mM）、pH 8.0中で、L-アスパラギン（7.3 mM）から1μモルのL-アスパルテートを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C

安定性 > 4年間 4°Cで。